

グラビア	地域を支える人 長尾由美子さん・東京都新宿区	1
発掘！地域の希望のタネ	〈奥大山の水洗い珈琲〉 鳥取県江府町	5
給食のじかん	〈ラワンぶきの混ぜご飯〉 北海道足寄町 廣田裕美	6
特集解題	災害の複合化に備える	8
焦点	気づいた誤りを、怖れずに、伝えることができる社会をつくる 日野勝吾	10
書評	平田直著『地震を知って震災に備える』 菅原敏夫	17

特集

災害の複合化に備える

	大震災 30 年目の検証—能登半島地震を受けて 室崎益輝	18
座談会	地震・津波と豪雨災害の現場から 能登半島地震と奥能登豪雨の被災地・能登町職員に聞く 蓑島真吾+朝川千春+木本有里+氷室佐由里	26
	能登半島地震の災害ボランティアをめぐって 渥美公秀	36
	巨大災害は複合化しさらに巨大化する—災害に向き合う災害弾力性を育む 広瀬弘忠	42
	気候変動がもたらす災害の複合化への影響 江守正多	52
あの時、私の職場では	会えないままの関係づくりの難しさ 岩脇優太	61
座談会	グラビア連動新春特別企画● 清掃現場で活躍する女性職員の今 長尾由美子+中山加代子+浦野貴恵+ハインズ玲穂+梅澤咲紀+西岡芳宏	64
しまね自治研記録	分科会レポート① 第1分科会 ようこそ島根へ～自治研入門リターンズ～ 佐藤茂雄	74
	第3分科会 公務職場を魅力あるものにするために 古谷明久	
	第4分科会 もう知らないでは済まされないLGBTQ+【実践編】 須貝 縦	
	機関誌案内	
	次号予告・編集部から	80

複合化していく災害に どう備えるか

2024年の元日に能登半島を襲った大地震から1年が経ちました。しかし9月にはその被災地を、今度は豪雨が襲い、災害が複合化することの厳しさを私たちはまのあたりにするようになりました。折しも阪神・淡路大震災から30年という節目も迎え、その教訓に思いをはせながら、複合化する災害という新たな課題を考えます。

大震災30年目の検証

阪神・淡路大震災を現地で体験し、昨年4月まで石川県災害危機管理アドバイザーも務めていた室崎さんに阪神・淡路大震災から能登半島地震への30年を検証していただきます。(本誌18頁)



地震・津波・豪雨災害の現場から—石川県能登町
今まさに復興の途上で奮闘されている能登町職員のみなさんに、発災時の状況から現在、そしてこれからについて聞きました。(本誌26頁)



巨大化複合化する災害への弾力性を育む

阪神・淡路大震災以降、日本では大規模地震が相次ぎ、さらに津波や原発事故、そして豪雨災害と、その複合化も顕著になっていきます。予測できないこれらの災害への弾力性をいかに育むかが問われています。(本誌42頁)

気候変動がもたらす災害の複合化

地球温暖化の影響で、豪雨災害は今後も増加することが予想されています。それは地震の多い日本では災害の複合化の蓋然性を高めます。適応策も緩和策もこれからの自治体政策に必須ではないでしょうか。(本誌52頁)



能登半島地震の災害ボランティアをめぐって

阪神・淡路大震災以降、災害ボランティアの活動は大きく広がりましたが、能登半島地震ではちよっと状況が違ったようです。現場からの声をお届けします。(本誌36頁)

